

第5回厚別南・青葉地区新設義務教育学校検討委員会

令和8年6月15日(火)15:00

青葉中学校 2階 会議室

司会進行：五十嵐 浩司（青葉中学校 教頭）

記録：長澤 孝次（新札幌わかば小学校 教頭）

出席者

委員（土田・今野・高平・荒木・谷口・谷内・鈴木・小林・本居・中村・渡辺・五十嵐・長澤）
オブザーバー（市教委 高橋・村井・河本・牧野）、菅野（アドバイザー委員）欠席（宮北・井上）

【議事記録】

1 開会

2 委員自己紹介

3 確認事項

4 協議事項

【「児童生徒の願い」の集約】

- ・【さっぽろっ子サポーターズ】は、地域学校協働活動に位置付ける。
- ・【さっぽろっ子サポーターズ】はテーマに基づいて話し合うと思う。もみじ台の方は地域と共に話し合っていた。青葉中校区も同様に行うのか。話し合いの中で校名についても話し合うのか。
- ・【さっぽろっ子サミット】は校名の決定ありきではないですね。
- ・【さっぽろっ子サミット】では子どもたちの思いをくみ取る。それを受けて大人で考えていく。
- ・大学生は何名くらい集まっているのか。
- ・4, 5名と聞いている・【さっぽろっ子サポーターズ】が入って生徒会と児童会で話し合いをするようだが、45分でねらいが達成できるのか。生徒会担当や大学生は、検討委員会で話し合われているような内容を知っているのか。話し合いの前に事前準備が必要ではないか。アドバイザーは、この会議に出席するのか。検討委員会にかかわっている人が入るべきではないか。
- ・会議の日程より内容。時間がかかってもいいができる範囲で。地域や保護者がかかわって時間の許す限り。事前の段取りが大切。
- ・地域のことをよく分かっていない大学生がサポートをするのは難しい。地域の歴史文化を伝えられる人がいいのでは。井上先生と大学生で伝えられ

るのか。

- ・子どもたちがどういう学校にしたいかが大切。7月16日は委員の出席も可能か。今日、提案された形で進めていくのがよい。
- ・出席はかまわない
- ・今日提案された形でいいのでは。まずは、進めてみないと。

【アンケート用紙の決定 配付 回収】

- ・アンケート用紙にQRコードを付けるのか。各センターでは、紙で回収したものをExcelファイルにするのか。掲示用のポスターもほしい。A3でいい。アンケートには、子どもたちがどんな学校にしたいかを打ち出した内容になるのか。事前に検討委員にアンケートを送ってもらえると話し合いがスムーズにいく。
- ・絞り込みから決定まで時間をかけると、なかなか決まらなかったという経験がある。急げという意味ではない。
- ・「プレ絞り込み」から「絞り込み案提示」の間で、子どもたちに進捗状況伝える場があっていいのでは。アドバイザーの菅野先生や井上先生の役割がはっきりとしない。
- ・子どもの思いを聞こうとするならば。市教委としてももう少し時間的な配慮があってもいいのでは。
- ・限られた期間で進めるのは仕方がない。非公式の場で話し合うことも考えられる。
- ・スケジュールに基づいて淡々で行うしかない。・7/16ワークショップの会の後に中学生と委員の方が対話するという方法もあるのでは。検討委員会だけではなく、いろいろな場で子どもたちと触れ合える場があれば。
- ・今後の学校運営にどのように生かしていくのか。学校は地域のことをどの程度知っているのか。学校は地域に出てきていない。期待していない。
- ・この提案で進めていくのがいい。

5 連絡事項

6 閉会